オートスプレー
F-106

■特徴

●油剤・薬剤に耐える材質を採用し、コンクリート離型剤・消毒剤の業務専用として設計されたものです。

●本機は蓄圧式全自動のため、一定の加圧（片手の手動）により、最後までむらなく早く散布できます。

●残圧を抜くバルブを装備。

●タンクの材質がステンレス製のため耐久性が抜群で、タンクの内側、外側はいつまでも美観を保っております。

●肩掛けバンド及び圧力計を標準装備。

商品番号　４９７３９

■用途

●コンクリート離型剤、各種油剤噴霧、環境衛生の消毒、農産物、畜産園芸の防除、洗浄用

■仕様

幅×高さ	１８５φ×４７０㎜
ノズルと握り	６５４㎜
ホース	耐油性１．３m
タンク	ステンレス

※噴口の違いについては裏面をご参照下さい

噴口	扇状のワイド噴口（標準品）	霧状噴口 *New!*（オプション品）
容量	６ℓ	
吐出量	７７０cc／分（圧力 0.4MPa 時）	２３０cc／分（圧力 0.4MPa 時）
重量	２．２kg	

富国石油株式会社

本社・東名工場
〒 410-0011 静岡県沼津市岡宮 949-8
TEL：055-921-4331　FAX：055-921-5886
URL　http://www.fukoku-oil.com/
E-mail　fukokuoil@fukoku-oil.com

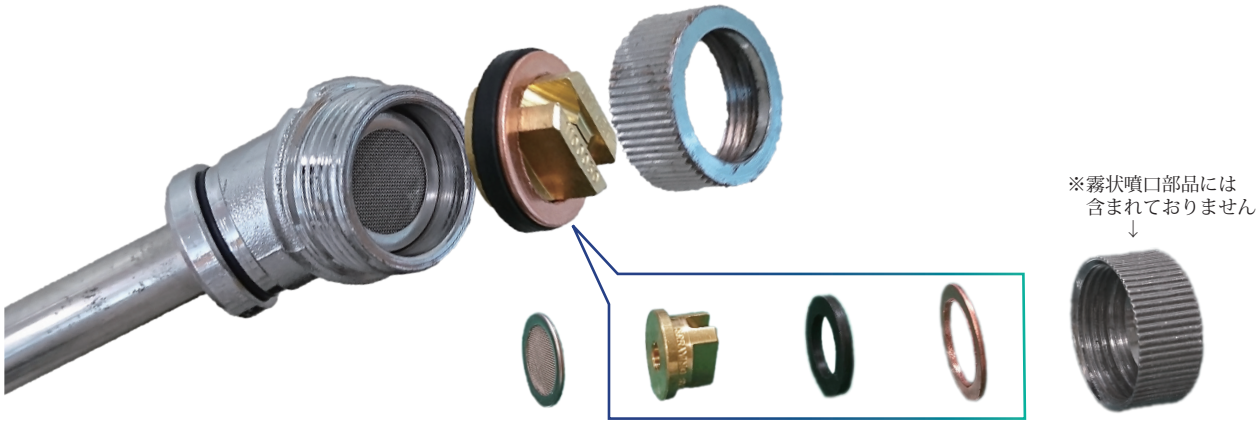
取扱店

扇状のワイド噴口	霧状噴口

■噴口組み立て

※霧状噴口タイプ 本体一式は「商品番号　4A105」となります。

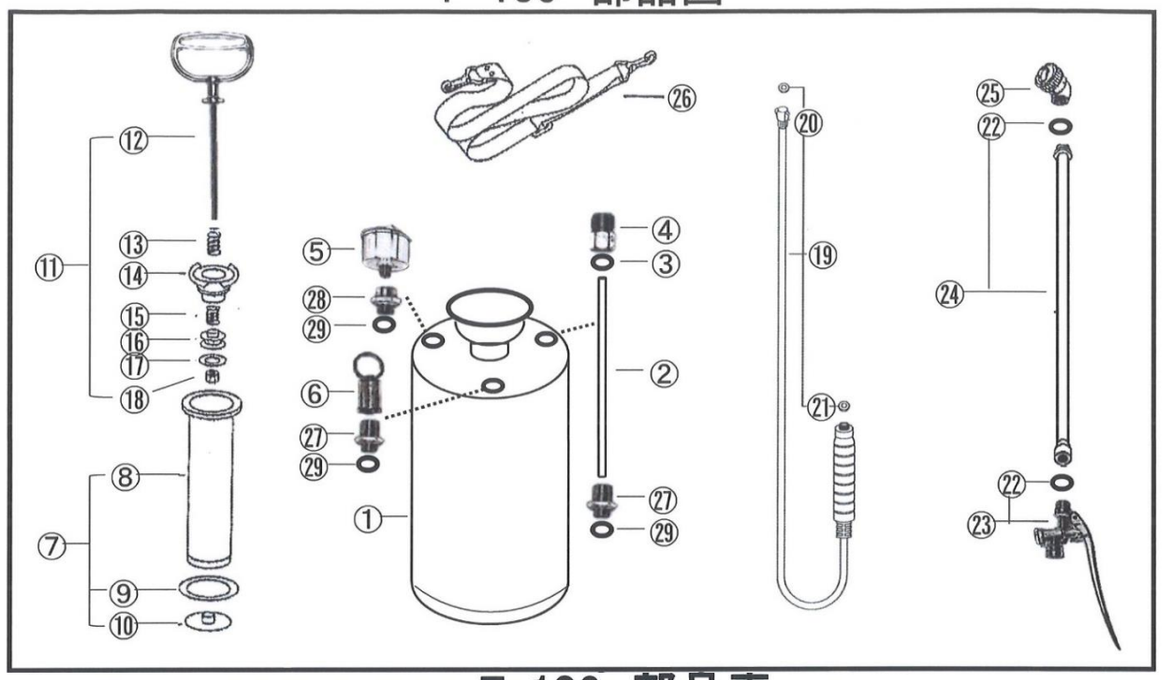
●霧状噴口へ付け替えの際は、下記の順番で組付けて下さい。



①ストレナー　②霧状ノズル　③噴口内パッキン　④銅ワッシャ

（商品番号　4A096　※①～④霧状噴口部品のみ）

F-106 部品図



F-106 部品表

図番 Ref,No	品名 Parts Name	個数	備考 Remarks	図番 Ref,No	品名 Parts Name	個数	備考 Remarks
1	タンク	1		20	中芯パッキン	1	
2	吸上げパイプ	1		21	先パッキン	1	P10
3	吸上げパイプOリング	1		22	大切パッキン	2	平
4	送水口	1		23	レバーコック G1/4	1	㉒
5	圧力計	1		24	ノズルパイプ	1	㉒
6	減圧弁(完)	1		25	ワイド噴口	1	G1/4
7	シリンダー(完)	1	⑧～⑩	26	バンド	1	
8	シリンダー	1		27	送水口・減圧弁ニップル	2	
9	シリンダーパッキン	1		28	圧力計ニップル	1	
10	弁パッキン	1		29	ニップルパッキン	3	P10A
11	ピストン(完)	1	⑫～⑱				
12	ピストン	1		※	ワイド噴口内パッキン	1	
13	ピストンスプリング	1					
14	ピストン受け	1					
15	ピストンスプリング下	1					
16	ピストン先	1					
17	ピストン先Oリング	1					
18	ピストン先止めナット	1					
19	ホース(完) 1.3m	1	⑲⑳㉑				

上手に使って安全に

オートスプレー
F-106

取扱説明書

⚠ 注意

- ご使用前に必ず取扱説明書をよく読んで正しく使用して下さい。
- この取扱説明書は、いつでも読める場所に大切に保管して下さい。
- 万一、この取扱説明書が損傷したり、紛失した場合は、新たに購入して下さい。
- この製品を貸与、譲渡される場合は、この取扱説明書を添えてお渡し下さい。

仕様

- 機体寸法(幅×高さ) ―― 185(φ)×470(mm)
- タンク容量 ―― 6(ℓ)
- 常用圧力 ―― 0.3～0.4(MPa)
- 加圧方式 ―― 蓄圧式

FUKOKU
富国石油株式会社
〒410-0011 静岡県沼津市岡宮949-8
TEL 055-921-4331 FAX 055-921-5886

この取扱説明書では、説明内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危険や損害の程度を、次の表示で説明しています。

⚠注意 この表示の蘭は「障害または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

⚠使用上の注意

- ●液剤の取り扱いについては必ず使用液剤の取扱説明書の注意、指示事項に従って下さい。
- ●酒気をおびている時、妊娠中の時、過労、病気、薬物の影響等の理由により、正常な作業ができない時には、この製品を使用しないで下さい。
- ●液剤の付着や吸入を防ぐために保護マスク、保護メガネ、作業帽、耳栓、不透過性の手袋、長袖の服、長ズボン、作業靴を着用して、皮膚の露出をさけて下さい。
- ●健康状態の悪い時はさけ、又、作業中に少しでも体調が悪くなった時は、すぐに医師の診断を受けて下さい。
- ●薬剤で水道、河川、池、沼等を汚染しない様に、又、人体や必要以外の物に液剤がかからない様、風向や周囲の状況に充分注意して下さい。
- ●作業後は、機具や着衣類をすべてよく洗い作業者も全身をよく洗い、うがいをして下さい。
- ●使用薬剤をかえる時は、「使用後の手入れ」の要領で、前の液剤を完全に抜き取ってから新しい液剤を入れて下さい。
  液剤がまざると化学変化をおこし危険です。
- ●純正部品以外を取りつけて使用したり、改造して使用する事はモレ等の原因となりますので絶対にやめて下さい。
- ●使用後は充分洗浄し、直射日光があたらず、子供の手の届かない場所に保管して下さい。

各部の名称

使用方法

1　各部の名称を参照して、ホースとノズルパイプを組み付けて下さい。

⚠注意	接続部分の締め込みがゆるいと液剤がモレ、危険です。 又、ホース、Oリング、パッキンにキズがないか、 ゴミがついていないか確かめて下さい。

2　肩掛バンドの長さを調節して、フックを薬液タンクの両わきのバンド環に掛けて下さい。

⚠注意	バンドは古くなると劣化したり、又キズがある場合は切れてしまいます。その時は新しい物と交換して下さい。

3　液剤を入れる前に、清水で試運転をして、接続部分の水モレ、ゴミづまりがないか調べて下さい。
4　液剤は薬液タンクの許容量以内だけをシリンダーを外しタンクに入れてシリンダーを取付けして下さい。

⚠注意	薬剤を扱う前に、保護マスク、保護メガネ、作業帽、耳栓、不透過性の手袋、長袖の服、長ズボン、作業靴を着用し、危険のない服装で作業して下さい。

5　コックを閉めて(レバーを横向きにする)ピストンを上下に動かし0.3～0.4MPaの圧力に蓄圧して下さい。
6　加圧が出来ましたら、コックを開いて下さい。
　ワイド噴口から薬液が霧状に出ます。

⚠注意	コックを開く時は、水道、河川、池、沼等を汚染しない様に、又、人体や必要以外の物にかからない様、風向きや周囲の状況に充分注意して作業して下さい。

⚠注意	ホースを引っ張ったり、ねじったりすると、接続部分がゆるみ液剤がモレてしまい危険です。

7　霧の勢いが弱くなったら、ピストンを上下して、加圧作業をくり返して下さい。

使用後の手入れ

1　機具の洗浄水は、土中に埋めて下さい。

⚠注意	河川、池、沼、下水等には、絶対に捨てないで下さい。汚染の原因となります。

2　水洗いした薬液タンク内に清水を入れ、ワイド噴口をはずして噴射して下さい。
3　ワイド噴口を水洗いして下さい。
4　薬液タンク等の汚れは、中性洗剤で洗って下さい。

⚠注意	注意ラベルが読めなくなったり、はがれたりした場合は、新たに購入し同じ位置にはりつけて下さい。

5　コック又は減圧弁を開け、薬液タンク内の圧力を抜いて部品を全部まとめて箱に入れて保管して下さい。

⚠注意	ノズルパイプ、ホースを取りはずす時は、コック又は減圧弁を開いて圧力のかかっていない状態にしてから行って下さい。

⚠注意	子供の手が届かず、直射日光や雨水のあたらない場所に保管して下さい。

※ピストンの動きが悪くなったときは、ピストンOリングにグリス又は油を差して下さい。
※パッキン、Oリング、ホースは、摩耗したり劣化したりしますので、キズやモレのある場合は、純正部品と交換して下さい。